

三尻中学校は、「新熊谷プロジェクト」で「学力日本一」を目指します！

〔学校経営方針〕

生徒一人一人の能力や個性を伸ばす教育の推進 ～ 全ては子供たちの笑顔のために～

- 〔新熊谷プロジェクト〕の取組
- 教科横断的でオーセンティックな授業を-
- 「総合的な学習の時間」を中心としたカリキュラム改善
- 未知の社会にも対応できる汎用的能力の育成

〔目指す学校像〕

[保護者、地域から信頼され、期待される学校]

- 学校教育活動の広報
(HPの機を捉えた更新　学校だよりの全戸回覧)
- 学校運営協議会の主体的な運営
- 安全で安心な環境の整備

[学校教育目標]

自ら学ぶ生徒

- ① カリキュラムの改善
 - ・オーセンティックな授業実践（全教科）
 - ・各教科等を貫く言語能力の育成
 - ・総合的な学習の時間など「探求的な学習」の充実
 - ② 確かな学力を身につけさせる授業の工夫
 - ・「三尻授業スタイル」の確立
(学習内容と対応した「振り返り」の充実)
 - ・個に応じた支援の充実
 - ・学力・学習状況調査問題の効果的な活用
 - ・全教科でラウンドシステムの考え方を浸透
 - ③ 家庭等における学習習慣の充実
 - ・「学びボード」活用による家庭学習の提示と見届け
 - ・くまなびスクールの利活用の推進
 - ・一人一台タブレットの効果的な活用

- ① 生徒が主体的に活動する場の設定
 - ・学級活動・生徒会活動の充実
 - ・生徒主体の学校行事の企画、運営
- ② 仲間を大切にする思いやりの心の育成
 - ・ローテーション道徳による道徳教育の充実
 - ・個に応じた合理的配慮のさらなる推進
 - ・ステップアップルーム(SUR)の充実
(生徒の「居場所」「つながり」づくり100%)
 - ・四葉賞の推進、アセスの活用
- ③ 社会で通用する規範意識醸成
 - ・生徒が改訂した生活指針「時場礼」の徹底
 - ・「生活のきまり」の見直し
 - ・豊かな人権感覚の育成(いじめ見逃しひ口)

- ① 夢や目標の実現に向けた支援の工夫
 - ・キャリアパスサポートの活用
(各学期等の目標設定と振り返り 100%)
 - ・全校統一の「目標シート」の効果的な活用
- ② 基本的な生活習慣の確立
 - ・HQC シートを活用した健康教育の充実
(健康診断後受診率 100%)
 - ・「熊谷の子どもたちは、これができます!
『4つの実践』と『3減運動』」等の徹底
- ③ 基礎体力の向上
 - ・体育授業での個々の目標の明確化
(体力プロフィールシートの活用)
 - ・体育の授業での課題解決に向けたトレーニング強化

学びづくりは人づくり

思いやりのある生徒

県教育委員会「授業時数の弾力化に係るモデル校」指定校

【学校研究課題】

「人」人の居場所となる学びの場の創造 -授業・学級における「共働」による「共同体感覚」の育成-



三尻中学校は、「熊谷の子どもたちは、これができる!『4つの実践』と『3減運動』」、「スマホ使い方宣言」、「タブレット端末の約束5か条」に教師が手本となって取り組みます。

